

このエリアには ツキノワグマが 暮らしています

クマと共存するために知っておきたいこと



環境省
Ministry of the Environment

発行 2025年7月 環境省 信越自然環境事務所
作成 NPO法人 信州ツキノワグマ研究会

あなたは今、 クマの生息地にいます

クマを意識して行動しましょう。
クマは積極的に人を襲う動物ではありませんが、食料やゴミの味を覚えると危険なクマになってしまいます。

食料・ゴミを食べさせない

- ✓ 食料・ゴミはニオイが出ないように管理



食料やゴミを覚えて
危険なクマになるまで



近くでバツタリ出会わない

- ✓ 音を出す（鈴・ラジオ・手をたたく・声）



近くで出会ってしまったら

- ✓ ゆっくり後ずさり
- ✓ 大声を出さない！
- ✓ 走って逃げない！



裏面に詳しい対策が書かれています。4つ折りにして携行してください

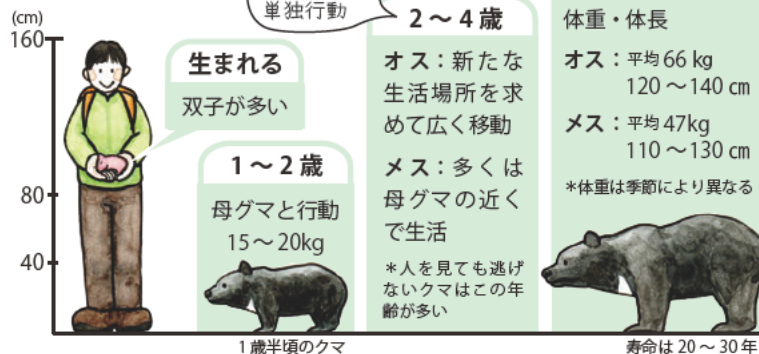
ツキノワグマ (食肉目クマ科)

日本では、本州と四国に分布。森林性の大型哺乳類で、様々な生き物の暮らす豊かな自然に生息する。月の輪模様や性格はクマごとに異なる。



夏に人里に近づくクマが多いが、山登りして高山帯のお花畑で過ごすクマもいる

クマの成長



食べ物・暮らし

- ・草や木の実を中心に、昆虫類なども食べる雑食性（季節により食べ物は変化）
- ・季節によって利用する標高が変わる

クマの行動範囲

- 1日の移動距離：約1～3km
- 1年間の行動範囲：約10～700km²

クマの活動時間

- 春～夏：主に昼間に活動（建物近くなどでは夜活動）
- 秋：昼も夜も活動

冬眠開始 (11月中旬～)

*多くは12月末までに冬眠



2月初旬に子グマ誕生

